



2026年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年9月14日

上場会社名 株式会社オービス 上場取引所 東
コード番号 7827 URL <https://www.orvis.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中浜 勇治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 清輝 TEL 084-934-2621
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年10月期第3四半期の連結業績（2025年11月1日～2026年7月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年10月期第3四半期	8,548	△14.2	180	△67.8	170	△69.0	91	△73.7
2025年10月期第3四半期	9,963	16.0	559	24.5	548	21.2	348	1.0

（注）包括利益 2026年10月期第3四半期 102百万円（△68.2％） 2025年10月期第3四半期 321百万円（△17.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期第3四半期	51.53	—
2025年10月期第3四半期	197.13	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年10月期第3四半期	12,173	5,721	47.0
2025年10月期	12,587	5,713	45.4

（参考）自己資本 2026年10月期第3四半期 5,721百万円 2025年10月期 5,713百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2026年10月期	—	0.00	—		
2026年10月期（予想）				62.00	62.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年10月期の連結業績予想（2025年11月1日～2026年10月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	13,088	3.6	550	△16.5	524	△18.5	354	△16.1	198.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年10月期3Q	1,783,006株	2025年10月期	1,775,469株
② 期末自己株式数	2026年10月期3Q	1,337株	2025年10月期	1,337株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年10月期3Q	1,778,108株	2025年10月期3Q	1,770,179株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済情勢の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益の改善や株高による市場への期待が高まり、雇用・所得環境の改善が続くなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、ウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化によって、地政学リスクがさらに高まり、加えて資源価格の高騰による物価上昇、さらには日中関係の悪化の影響など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、中期経営計画「NEXT STEP 10」の達成に向けて、「人材の採用・育成・定着」を重点施策として掲げ、事業基盤の強化に取り組むとともに、お客様ニーズに応えるべく営業力・提案力の強化を図り、新規顧客の開拓や既存顧客の取引深耕に注力するなど、全社を挙げて収益力の強化と事業規模の拡大に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は85億48百万円（前年同期比85.8%）、営業利益は1億80百万円（前年同期比32.2%）、経常利益は1億70百万円（前年同期比31.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は91百万円（前年同期比26.3%）となりました。

これにより、純資産は前連結会計年度末の57億13百万円から57億21百万円となり、自己資本比率は45.4%から47.0%となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。営業損益につきましては、全社費用等配分前で記載しております。

（木材事業）

梱包用材等の業界におきましては、米国通商政策や長期にわたる中国経済の停滞により、輸出梱包の荷動きは総じて弱含みで推移いたしました。また、中東情勢の緊迫化によってホルムズ海峡の一部が閉鎖され、海上輸送費のさらなる高騰が危惧されるなど、大変厳しい事業環境が続いております。

このような環境のもと、想定を超える梱包マーケットの低迷により、原木消化量は前年同期比で微減となりました。一方、原材料高による調達コストの高止まりや諸経費の上昇を吸収すべく、経費削減及び製材工程の見直し等による生産性の向上に努めてまいりました。また、国産杉への切り替えを促進するとともに、遠方地域では仕入商品も活用し、提案型営業による受注確保に努めたほか、値上げ効果もあり、売上高は前年同期実績と同水準を維持することができました。

その結果、売上高は56億35百万円（前年同期比99.7%）、営業利益は2億18百万円（前年同期比90.8%）となりました。

（ハウス・エコ事業）

建設業界におきましては、インフラ整備を中心とした公共投資や民間の設備投資は堅調に推移しているものの、技能労働者の人手不足による人件費の高騰や建設資材価格の高止まりなど、厳しい事業環境が続いております。

このような環境のもと、引き続き人材の採用・育成に注力してまいりました。また、連結子会社との連携により顧客ニーズに応じた技術サービスを提供することに加え、重点エリアでの営業活動を強化し、販売とリースの両面から柔軟な提案型営業を展開した結果、当第3四半期末の受注残高は第2四半期に続き過去最高を更新いたしました。

しかしながら、当第3四半期においては、官公庁大型案件の減少や重量鉄骨分野を担う連結子会社において、着工の遅れ、受注の期ずれ及び失注等によって、結果的に事業部全体として売上高が伸び悩むとともに、給与水準の引き上げや人員増強による人件費の増加等を中心とした経費増の影響もあり営業赤字となりました。

その結果、売上高は22億90百万円（前年同期比61.8%）、営業損失は18百万円（前年同期は営業利益3億33百万円）となりました。

（太陽光発電売電事業）

引き続き定期的なメンテナンスの実施により、運転開始以降、全ての発電所（15ヶ所、総発電容量は約13メガワット）が安定稼働を継続しております。

その結果、売上高は3億23百万円（前年同期比99.6%）、営業利益は2億18百万円（前年同期比101.4%）となりました。

(ライフクリエイト事業)

ゴルフ場業界におきましては、アフターコロナにおいて他レジャーへの移行・分散が進むなか、異常気象や構造的なゴルフ人口の減少に加え、食材の仕入価格・燃料高騰等のコスト上昇に直面しており厳しい事業環境が続いております。

このような環境のもと、高齢化が進む会員の若返りを目的とした新規会員の募集を行うとともに、開場50周年ロングランコンペ等の実施により集客に努めてまいりました。また、乗用カートのコース内乗り入れを開始し、快適なプレー環境の提供に努めるとともに、クラブハウス内の設備やメンテナンス機械類、ゴルフカートの一部更新など、計画的な設備投資等を実施いたしました。

その結果、売上高は2億97百万円（前年同期比106.5%）、営業利益は32百万円（前年同期比115.7%）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して4億14百万円減少し、121億73百万円となりました。その主な要因はリース未収入金が1億9百万円、仕掛品が2億10百万円、その他（流動資産）が1億78百万円それぞれ増加し、現金及び預金が2億97百万円、受取手形及び売掛金が1億78百万円、完成工事未収入金及び契約資産が1億65百万円、機械装置及び運搬具が1億98百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末と比較して4億22百万円減少し、64億51百万円となりました。その主な要因は未払法人税等が90百万円、その他（流動負債）が3億31百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して8百万円増加し、57億21百万円となりました。その主な要因は資本金が6百万円、資本剰余金が6百万円、繰延ヘッジ損益が9百万円それぞれ増加し、利益剰余金が14百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年10月期の通期連結業績予想につきましては、2025年12月12日の「2025年10月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表した業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,129,637	831,785
受取手形及び売掛金	1,200,424	1,021,559
電子記録債権	542,461	580,827
完成工事未収入金及び契約資産	383,862	218,352
リース未収入金	2,491,771	2,600,933
商品及び製品	170,546	147,592
仕掛品	68,335	278,476
未成工事支出金	167,383	194,961
原材料及び貯蔵品	665,792	638,017
その他	96,414	275,142
流動資産合計	6,916,629	6,787,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,119,127	1,063,916
機械装置及び運搬具（純額）	1,118,769	920,355
土地	2,970,173	2,970,173
その他（純額）	158,557	149,299
有形固定資産合計	5,366,628	5,103,745
無形固定資産		
のれん	7,460	—
その他	15,627	8,703
無形固定資産合計	23,087	8,703
投資その他の資産		
投資有価証券	179,352	184,985
その他	101,645	88,001
投資その他の資産合計	280,997	272,987
固定資産合計	5,670,713	5,385,436
資産合計	12,587,343	12,173,084

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	469,865	473,551
工事未払金	329,152	368,818
1年内返済予定の長期借入金	1,014,650	1,053,353
未払法人税等	90,412	112
賞与引当金	139,020	81,721
完成工事補償引当金	1,064	412
工事損失引当金	—	19,105
その他	953,692	622,137
流動負債合計	2,997,858	2,619,212
固定負債		
長期借入金	3,530,124	3,478,522
退職給付に係る負債	150,355	153,868
資産除去債務	10,004	10,161
その他	185,716	189,979
固定負債合計	3,876,200	3,832,530
負債合計	6,874,058	6,451,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	709,742	715,956
資本剰余金	537,742	543,956
利益剰余金	4,396,106	4,381,289
自己株式	△1,301	△1,301
株主資本合計	5,642,289	5,639,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,593	70,507
繰延ヘッジ損益	1,402	10,933
その他の包括利益累計額合計	70,995	81,440
純資産合計	5,713,284	5,721,341
負債純資産合計	12,587,343	12,173,084

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
売上高	9,963,060	8,548,150
売上原価	8,158,503	7,008,407
売上総利益	1,804,557	1,539,742
販売費及び一般管理費	1,244,821	1,359,642
営業利益	559,736	180,100
営業外収益		
受取利息	70	4,333
受取配当金	4,089	4,940
作業屑等売却代	3,161	2,227
受取賃貸料	3,600	3,600
雑収入	2,495	3,711
営業外収益合計	13,417	18,812
営業外費用		
支払利息	23,659	27,500
雑損失	831	1,257
営業外費用合計	24,490	28,757
経常利益	548,662	170,155
特別利益		
固定資産売却益	207	4,168
補助金収入	—	21,931
投資有価証券売却益	10,412	—
特別利益合計	10,620	26,099
特別損失		
固定資産売却損	19,810	—
固定資産除却損	—	6,114
特別損失合計	19,810	6,114
税金等調整前四半期純利益	539,472	190,140
法人税、住民税及び事業税	143,170	67,893
法人税等調整額	47,342	30,616
法人税等合計	190,513	98,509
四半期純利益	348,958	91,631
親会社株主に帰属する四半期純利益	348,958	91,631

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
四半期純利益	348,958	91,631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,135	913
繰延ヘッジ損益	△2,616	9,531
その他の包括利益合計	△27,751	10,445
四半期包括利益	321,206	102,076
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,206	102,076

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	木材事業	ハウス・エコ事業	太陽光発電 売電事業	ライフ クリエイト 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,650,171	3,708,221	325,191	279,476	9,963,060
セグメント間の内部売上高 又は振替高	130	—	—	—	130
計	5,650,302	3,708,221	325,191	279,476	9,963,191
セグメント利益	240,431	333,230	215,047	27,975	816,685

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	816,685
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△256,949
四半期連結損益計算書の営業利益	559,736

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				
	木材事業	ハウス・エコ事業	太陽光発電 売電事業	ライフ クリエイト 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,635,633	2,290,793	323,964	297,758	8,548,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,635,633	2,290,793	323,964	297,758	8,548,150
セグメント利益又は損失(△)	218,199	△18,745	218,118	32,361	449,934

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	449,934
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△269,834
四半期連結損益計算書の営業利益	180,100

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
減価償却費	455,555千円	419,044千円
のれんの償却額	2,238千円	7,460千円